



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東 名

上場会社名 ダイナパック株式会社
コード番号 3947 URL <http://www.dynapac-gr.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小嶋 厚
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 草野 雅夫

TEL 052-971-2651

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	33,541	0.6	939	27.4	1,152	11.8	802	84.2
24年12月期第3四半期	33,338	0.0	737	△24.6	1,030	△4.6	435	17.7

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 1,826百万円 (11.8%) 24年12月期第3四半期 1,633百万円 (560.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	16.24	16.20
24年12月期第3四半期	8.82	8.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	53,526	31,215	58.2
24年12月期	53,055	29,787	56.1

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 31,176百万円 24年12月期 29,749百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	8.00	8.00
25年12月期	—	0.00	—		
25年12月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	△0.5	1,450	△8.5	1,700	△12.0	1,300	△1.9	26.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	51,612,959 株	24年12月期	51,612,959 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	2,212,885 株	24年12月期	2,204,969 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	49,405,361 株	24年12月期3Q	49,406,853 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記の業績予想に関する事項につきましては添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照願います。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内外需ともに堅調に推移し回復基調が続きました。鉱工業生産は緩やかに増加し、個人消費は雇用・所得環境に持ち直しもみられ底堅い動きを示しました。とくに、復興需要や緊急経済対策により公共投資は高水準を持続し、消費税率引上げ前の駆け込み需要もあり住宅投資は大幅に増加しました。輸出は円安を背景に緩やかに増加しましたが、原油高により輸入金額が高止まりしたため貿易収支は東日本大震災以来の赤字が続きました。海外経済は、欧州圏では域内格差があるものの全体として改善がみられましたが、米国の財政問題と金融政策の動向が新興国経済への影響を含めた懸念材料として浮上しました。

段ボールの消費動向は、主力の食料品分野を中心に堅調に推移しており、業界の1～9月累計（9月は速報値）の生産数量は前年比100.9%となりました。

このような環境下当社グループは、国内においては加工食品（飲料を含む）、青果物など食料品分野を中心として前年を上回る販売数量を確保しました。価格面は電機・機械分野における顧客の海外生産シフトに伴い顧客構成比が変化していることに加え、製品の薄物化・軽量化の進展の影響から伸び悩みました。

一方、海外事業はベトナム、マレーシアの製造販売拠点を中心に好調に推移しました。

生産面においては、生産性・歩留りの改善や品質向上に向けた取組みが収益性改善に寄与したほか、生産設備のより効率的なオペレーションを目指す改善運動にも一定の成果を収めました。また、各事業所と周辺グループ企業が製販両面から連携して収益機会を追求するエリア戦略と商品戦略の強化にも注力しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は335億41百万円（前年同期比100.6%）、営業利益9億39百万円（前年同期比127.4%）、経常利益11億52百万円（前年同期比111.8%）および四半期純利益8億2百万円（前年同期比184.2%）となりました。

セグメントの業績の状況は次のとおりであります。

① 包装材関連事業

当セグメントにおきましては、売上高は354億26百万円（前年同期比99.6%）、セグメント利益（営業利益）は9億31百万円（前年同期比112.0%）となりました。

② 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は2億41百万円（前年同期比117.3%）、セグメント利益（営業利益）は1億45百万円（前年同期比104.8%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億71百万円増加し535億26百万円となりました。これは、主に前連結会計年度末に比べ株式市場が回復したことに伴い、保有している投資有価証券の含み益が増加したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ9億56百万円減少し223億11百万円となりました。これは、主に長期借入金を新規で調達したことなどにより固定負債は増加したものの、短期借入金の返済などにより流動負債が減少したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ14億27百万円増加し312億15百万円となりました。これは、主に配当金の支払などの減少要因があったものの、株式市場の回復に伴う投資有価証券の含み益の増加に伴うその他有価証券評価差額金の増加などの増加要因が上回ったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の日本経済は、個人消費が堅調に推移し消費税率引上げ前の需要増も見込まれるほか、公共投資の増勢持続や企業収益の改善を背景とする設備投資の回復も加わり、比較的高めの成長が見込まれます。

このような状況において、業績予想につきましては、平成25年8月2日に公表しました業績予想の達成に引き続き努めてまいりますので、業績予想の修正はしておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	711,409	835,961
受取手形及び売掛金	14,029,169	12,922,895
商品及び製品	554,234	704,287
仕掛品	183,618	208,109
原材料及び貯蔵品	977,166	1,034,911
繰延税金資産	531,723	445,291
その他	133,850	154,019
貸倒引当金	△14,018	△39,749
流動資産合計	17,107,155	16,265,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,325,160	16,523,219
減価償却累計額	△8,952,376	△9,343,507
建物及び構築物（純額）	7,372,784	7,179,711
機械装置及び運搬具	24,507,564	24,938,405
減価償却累計額	△18,492,683	△18,678,821
機械装置及び運搬具（純額）	6,014,880	6,259,583
土地	7,573,885	7,576,250
その他	2,119,321	2,310,004
減価償却累計額	△1,518,209	△1,678,862
その他（純額）	601,111	631,141
有形固定資産合計	21,562,661	21,646,687
無形固定資産	333,452	337,270
投資その他の資産		
投資有価証券	13,274,255	14,483,183
繰延税金資産	54,570	29,793
その他	940,891	984,892
貸倒引当金	△217,814	△220,948
投資その他の資産合計	14,051,903	15,276,922
固定資産合計	35,948,017	37,260,880
資産合計	53,055,172	53,526,607

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,970,667	11,029,883
短期借入金	4,360,149	2,316,754
1年内返済予定の長期借入金	250,000	325,000
未払法人税等	212,344	183,187
賞与引当金	376,679	515,138
その他	2,597,974	2,355,411
流動負債合計	18,767,815	16,725,376
固定負債		
長期借入金	62,500	700,000
繰延税金負債	2,129,949	2,513,882
退職給付引当金	1,855,603	1,928,573
その他	451,921	443,723
固定負債合計	4,499,974	5,586,180
負債合計	23,267,790	22,311,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	16,986,679	16,986,679
利益剰余金	7,667,927	8,074,268
自己株式	△983,601	△984,758
株主資本合計	27,671,005	28,076,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,278,034	3,113,083
為替換算調整勘定	△199,084	△12,144
その他の包括利益累計額合計	2,078,950	3,100,938
新株予約権	35,325	33,963
少数株主持分	2,101	3,960
純資産合計	29,787,382	31,215,051
負債純資産合計	53,055,172	53,526,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	33,338,928	33,541,627
売上原価	28,083,841	27,695,642
売上総利益	5,255,086	5,845,985
販売費及び一般管理費	4,517,373	4,906,094
営業利益	737,712	939,890
営業外収益		
受取利息	4,900	6,937
受取配当金	151,732	167,712
為替差益	—	24,078
受取保険金	70,576	2,000
雑収入	132,697	101,852
営業外収益合計	359,906	302,581
営業外費用		
支払利息	33,904	32,764
為替差損	616	—
貸倒引当金繰入額	—	28,000
雑損失	32,826	29,649
営業外費用合計	67,346	90,414
経常利益	1,030,272	1,152,057
特別利益		
固定資産売却益	1,130	7,883
投資有価証券売却益	—	890
特別利益合計	1,130	8,773
特別損失		
減損損失	1,825	—
固定資産売却損	1,418	15,953
固定資産除却損	160,385	9,333
投資有価証券評価損	169,887	—
その他	38,000	—
特別損失合計	371,516	25,286
税金等調整前四半期純利益	659,885	1,135,544
法人税、住民税及び事業税	169,383	241,128
法人税等調整額	54,962	91,283
法人税等合計	224,345	332,412
少数株主損益調整前四半期純利益	435,540	803,132
少数株主利益	—	961
四半期純利益	435,540	802,171

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	435,540	803,132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,191,210	835,946
為替換算調整勘定	7,098	186,939
その他の包括利益合計	1,198,309	1,022,886
四半期包括利益	1,633,849	1,826,018
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,633,849	1,824,158
少数株主に係る四半期包括利益	—	1,859

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(千円) (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円)(注)2
	包装材関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	33,165,431	173,497	33,338,928	—	33,338,928
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,411,918	32,544	2,444,462	△2,444,462	—
計	35,577,349	206,041	35,783,390	△2,444,462	33,338,928
セグメント利益	831,479	138,491	969,971	△232,258	737,712

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△232,258千円には、主に事業セグメント間取引消去11,036千円、報告セグメント間取引消去△717千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△239,701千円、のれん償却額△20,189千円および未実現利益消去22,378千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(千円) (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円)(注)2
	包装材関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	33,332,486	209,141	33,541,627	—	33,541,627
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,093,879	32,544	2,126,423	△2,126,423	—
計	35,426,365	241,685	35,668,051	△2,126,423	33,541,627
セグメント利益	931,270	145,133	1,076,404	△136,513	939,890

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△136,513千円には、主に事業セグメント間取引消去8,161千円、報告セグメント間取引消去△322千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△156,070千円および未実現利益消去21,770千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。